

- ◆ 近畿財務局では、各種ヒアリング等を通じて把握した地域の課題・ニーズ等に対し、当局が有するネットワークを活用した課題解決型のイベントを企画・実施しているところ。
- ◆ このような中、昨事務年度に当局が実施した「6次産業化ネットワーク活動交付金」にかかる予算執行調査を端緒に、京都府における6次産業化支援に係る課題を把握できたことから、きょうと農業ビジネスプラットフォームと当局が共催で、京都府内の6次産業化プランナー・普及指導員等を対象にした「6次産業化支援のための講演会・勉強会」を開催（平成28年9月27日）。

1. 成果事例の概要等

【課題の把握】

- 「6次産業化ネットワーク活動交付金」にかかる予算執行調査において、京都府では、「農家に対し相談・支援を行うプランナー・普及指導員の技量を高める取組が急務となっている」との課題を把握。
- また、「農林系の補助メニューの他、商品開発・販路開拓などを進めるにあたっては、商工系の制度・補助金等の情報があるとありがたい」、「近畿2府4県の担当者と情報交換したいが、そのような交流の場がない」との要望も把握。

➔ こうした地域からの課題・要望に対し支援ができないか検討

きょうと農業ビジネスプラットフォームとの共催で、
京都府内の6次産業化プランナー・普及指導員等を対象にした
「6次産業化支援のための講演会・勉強会」を開催

【ポイント】

- ◆ 近畿管内において、強みのある地方公共団体の知見・ノウハウを他の地方公共団体へ繋ぐことにより地域活性化のきっかけを作る
 - ➔ 全国的にも6次産業化への取組が進んでいる兵庫県に、6次産業化への取組実績があるプランナーの紹介を依頼し、京都府に講師として招聘
- ◆ 財務局の所掌に縛られることなく、国の出先機関と連携することで、地域の要望・ニーズに応える
 - ➔ 近畿経済産業局による販路開拓支援・生産性向上に係る支援制度等の説明と、近畿農政局による6次産業化支援に係る制度等の説明を、第2部：勉強会として実施
- ◆ 近畿2府4県の地方公共団体職員にも広く参加してもらうことで、担当者同士のマッチング(連携)を促進する
 - ➔ 近畿2府4県の関係職員にも参加を呼掛け、第3部として交流会を開催

【講師プロフィール】 投石 満雄氏（投石マネジメントフォース 代表）

- 一般社団法人兵庫県農業会議委員、6次産業化プランナー。
- 兵庫県農業改良普及員の研修の他、一般社団法人兵庫県農業会議主催の「ひょうご農業MBA塾」、兵庫県中小企業団体中央会主催「農業ビジネス開発セミナー」、各地6次産業化研修会などで講師として活躍



2. これまでの取組の成果等

【第1部】講演会 『農から食ビジネスへ つなげ産業ネットワーク
～超えるべき常識と備えるべき常識～』

講師：投石 満雄氏

京都府内の6次産業化プランナー、普及指導員、及び各府県の関係職員を対象に、6次産業化に係る成功事例の紹介の他、農家を支援する立場としての心構え、支援者側のネットワークの作り方、広げ方等について講演



【第2部】勉強会

- ① 近畿経済産業局より、中小・小規模事業者向けの販路開拓支援、及び生産性向上に係る支援制度等の説明
- ② 近畿農政局より、29年度概算要求を中心に、6次産業化に係る支援制度等の説明

【第3部】交流会

1部・2部参加者による交流会（異業種交流ほか、近畿2府4県の担当者同士の連携のため開催）



【出席者の主な声】

- 6次産業化プランナーによる成功事例の紹介を参考に、地元の養鶏家・養蜂家と連携して菓子を商品化、百貨店のカタログに掲載されるなど、販路開拓に役立った。
- 農業総合支援センターと農業改良普及センターの連携が強まり、やる気のある農家を選別した経営支援セミナーを始める契機になった。
- 経済産業局と農政局の各制度をまとめて説明されたので、個々の長所がよくわかった。特に経済産業局の各種制度についての説明はなかなか直接聞く機会がないので、良かった。

3. 今後の課題と京都財務事務所の対応

- 参加者に対しその後の取組状況等についてフォローアップすることにより、継続して課題解決の一助となる企画を提案し、地域の支援に努める。
- 6次産業化支援への取組については近畿他府県においても様々な課題を抱えていることから、引き続き、各地域における課題の情報収集に努める。